

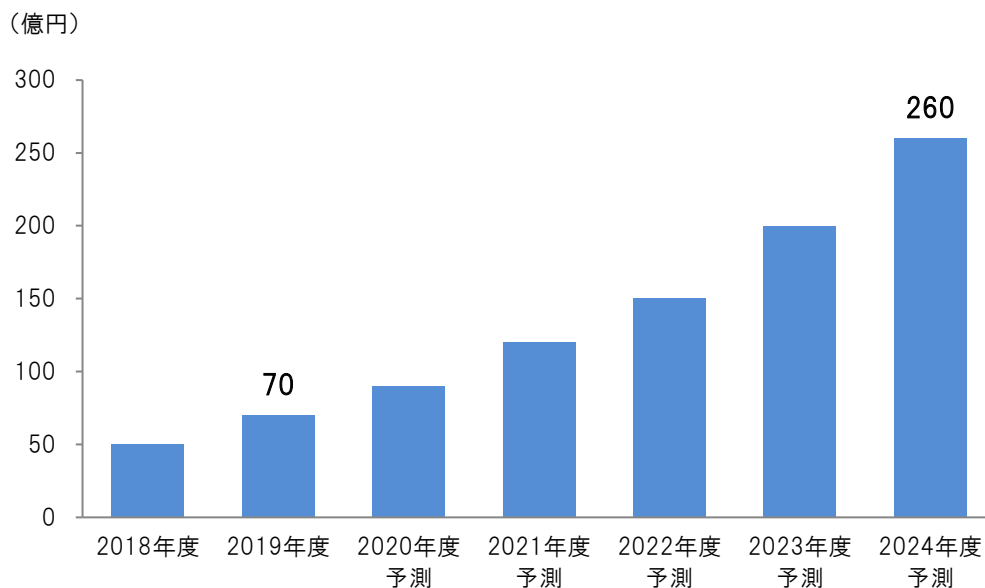
スマート照明 2024年に260億円規模に

MDB Digital Search 有望市場予測レポートシリーズにて調査

株式会社日本能率協会総合研究所(略称:JMAR 本社:東京都港区、代表取締役:譲原正昭)が提供する MDB Digital Search ではスマート照明市場を調査し市場規模を推計いたしました。

【URL】 <http://search01.jmar.co.jp/mdbds/>

スマート照明市場規模・予測



スマート照明市場概況

- ・2024年度のスマート照明市場は約260億円。
- ・スマート照明はIoT技術を活用した、スマートフォンやスマートスピーカーなどで操作可能な照明。
- ・多様な色彩表現、センサーを利用した自動調整など高い機能性を持ち、細かな設定が可能で省エネを実現する。
- ・低価格帯の製品の登場が省エネを利用目的とするユーザーを取り込み、市場が拡大。
- ・店内の演出や、省エネによるコスト削減などを目的に飲食店や小売店舗などの事業用途でも導入が進む見通し。

スマート照明は、スマートフォンやスマートスピーカーなどを利用して電源のON/OFFや光量調整などの操作を行うことのできる照明です。多様な色彩表現、センサーを利用した自動調整など高い機能性を持つほか、細かな設定が可能であることから省エネを実現できるというメリットがあります。IoT技術やAI技術により安心・快適な居住空間を構築するスマートホームの一技術として普及が進んでいます。

当初はスマート照明とスマートフォン・スマートスピーカーをつなぐ通信ハブを利用する必要があったため、初期費用が高くなってしまいう問題点がありましたが、無線LANを搭載することで通信ハブが不要であるスマート照明が登場し、低価格帯の製品も提供されるようになりました。低価格帯の製品が省エネを目的とするユーザー層のニーズとマッチし、市場の拡大につながっています。

現在は一般家庭での利用が中心となっていますが、オフィスビルや店舗などでの導入も行われており、今後さらに事業用途での利用が増えていくとみられます。特に飲食店や小売店舗などでは、省エネによるコスト削減や多彩な店内照明による演出などを目的に導入が進むと期待されています。

本調査では、スマート照明の市場規模を推計いたしました。

本調査結果の詳細は、JMAR が提供するリサーチプラットフォーム MDB Digital Search (<http://search01.jmar.co.jp/mdbds/>)に同レポートを収録し、ご提供しております。

レポートの構成

1. 調査対象市場定義
 2. 主要参入企業一覧
 3. 市場規模・予測
 4. マーケットシェア/主要参入企業動向
 5. 業界構造・ビジネスモデル
 6. ユーザー動向
- 計 5 ページ

MDB Digital Search では、「有望市場予測レポート」シリーズとして、各種の新サービス・注目製品の市場規模を推計しています。

【会社概要】

会社名： 株式会社 日本能率協会総合研究所

所在地： 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル 5 階

代表者： 譲原 正昭

設立： 1984 年 4 月

URL： <http://www.jmar.co.jp/>

事業内容： 官公庁の政策立案・計画立案のための調査研究事業と、民間企業のマーケティング、コンサルティングを行う調査研究事業、および、会員制のビジネス情報提供サービス事業

【お客様からのお問い合わせ/本リリースに関する報道お問い合わせ先】

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 2 階

株式会社 日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク

MDB 企画開発センター 担当：宮嶋/佐々木

TEL： 03-6202-1279

e-mail： mdbds_info@jmar.co.jp

URL： <http://search01.jmar.co.jp/mdbds/>

お問い合わせフォーム： <http://search01.jmar.co.jp/mdbds/contact/>